



▲観光客のスーツケースを持って構内の階段を上るポーター

心も運ぶおもてなし

JR登別駅におけるポーターサービス

1/17
~
2/18

1月17日(金)から2月18日(火)まで、JR登別駅で、観光客の手荷物の運搬を補助する『ポーターサービス』（市、登別国際観光コンベンション協会主催）を実施しました。

中華圏の大型連休である春節に合わせて実施しているこの取り組み。5年目を迎えた今年は、ウポポイを紹介するベストを着用したポーター（運搬者）に、多言語対応の自動翻訳機を配備し、より安心して利用していただけるようサービスの向上を図りました。

大きな荷物を持って登別に降り立った観光客は、早速の『おもてなし』に笑みをこぼしながら、ポーターと共に階段を上っていました。

姉妹都市の歴史学ぶ

白石市・登別市歴史交流講演会

2/1

2月1日(土)、市民会館で、登別市と歴史的な関係が深い宮城県白石市との文化を通じた交流を目的とした『白石市・登別市歴史交流講演会』（市主催）を開催しました。

この日は、宮城県白石市教育委員会の学芸員・日下和寿さんを講師に招き、1428年ごろに、きこりが鎌で岩をつついて発見したという伝説が残っている『鎌先温泉』をテーマに講演。約50人の参加者たちは、白石市北西部に位置する鎌先温泉の歴史や効能のほか、城下町として栄えた白石市の地理的な特徴などについても理解を深めていました。



▲歴史的なゆかりのある宮城県白石市の歴史などを学ぶ参加者たち

市内一円に鬼、鬼、鬼

1/25

2020年登別市市制施行50周年記念

2020年鬼まつり・キャンドルフェスティバル

1月25日(土)、登別・幌別・鷺別の市内3地区において『2020年鬼まつり』（同実行委員会主催）が開催されました。

節分にちなんで、鬼や福の神に扮した『元鬼ふりまき隊（豆まき隊）』が市内の店舗や病院、介護施設、幼稚園、事前に応募のあった住宅などを練り歩き、無病息災や家内安全、商売繁盛を祈願する同まつり。婦人センターと登別中央ショッピングセンターアーニス、鷺別公民館の3会場から出発したふりまき隊は、地域をめぐりながら、イオン登別店に集合。南京玉すだれや和太鼓青嵐、和太鼓ZIN K.Aの迫力あるアトラクションに続いて、多くの鬼たちによる演舞を披露していました。

また、同日17時から、若草中央公園において開催されていた『キャンドルフェスティバル』（非営利活動法人ライフサポート主催）にも、ふりまき隊が登場。東日本大震災をはじめとした自然災害による被災地の早期復興を思い作られた、数多くのキャンドルに照らされた会場で、鬼たちは集まった多くの子どもたちに『元鬼』を振りまいていました。



▲太鼓が響き渡る会場で演舞を披露する鬼たち



▲多くのキャンドルが並べられたキャンドルフェスティバル会場